

はにい

しかけカード

平成26年4月7日

「『しかけカード』を作ったとき、困ったことは何ですか」
「ハサミで切り込みを入れるのがむずかしかったです」
小学校2年生国語の授業です。

説明文について学ぶために、まずは説明文を読みながら、開くと飛び出す「しかけカード」を作ってみました。



「では、説明文の中でわかりやすく書いてあるところはどこでしょう」

先生が問いかけると、隣の席の友だちと話し合いながら、説明文のプリントに線を引いていきます。

「切る長さが4センチメートルって書いてあるね」

「うん、2本切るっていうところも大切だよ」

「こっちにも線を引こう」



次は発表です。線を引いたプリントをテレビ画面に映して説明します。

「飛び出すように折るところがむずかしかったけど、『写真のように』と書いてあったのでわかりました」

次々に手が挙がり、「わたしも〇〇さんと同じで、飛び出すように折るところで『手を色画用紙の後ろに当てて』と書いてあったのでできました。」と、友だちの発表につけ加える子もいます。

「●●さんはできあがるまで6枚もカードを作ったね」

「はい。切るところを間違えて5枚は失敗したけど、説明文をよく読んだら、画用紙を折った方から切り込みを入れることがわかったので、やっとできあがりました！」

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』は、
学校が元気になるように…

先生の仕事を受ける

学校に携わる大人たちがしていることを受ける

そして、子どもたちの育ちを受取る

そんな、コミュニケーションツールです。みんなで語り合きましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp